



439

賛 243

反 151
保 31棄 7
無 4 / 436

未

はじめに
本學生大會に參加しに付きての代議員、才
モトーバーの學友諸君、
學生会中央執行委員會は以下のとく今日我
々が直面している局面を鑑定し、さうに本日我
夏聲の討論を優先にし、多くの學友諸君及兵
に對いの演説に加わることを以て開會する。
去年の12月國旗反戰争筆をさせ遍り全世界
の被抑住人民の叫びに唇を、日本のヨウ学生
青年學生者と連帯し、毛澤エトライキヨ筆を
ヨヒ反戦全明治の學友諸君、1949年田解
行講堂民守、神田アリケーヒ戦とヨイ批に
学生社員に対する貢の連帶としてヨリモト
ライキ斗争と斗つたすべての學友諸君、さら
に日本の官憲學館乱々と以降様々な形態でヨイ
に参加している學友諸君、また初めて學生大會
に結果して新入生諸君、

學生会中央執行委員會は4・28安保一沖
糾斗争に重大な決意をもって決意することを
高らかに宣言する。さうにまじて個別の愛國
がかかるに愛國する。さうにまじて個別の愛國
がかかるに愛國する。さうにまじて個別の愛國
のはさりとした立場と決意を明らかにする。

◇帝國主義諸列強の基本的動向と

今日、ヨーロッパ、アメリカ、日本等帝國
主義心臟部にNATOの軍事同盟、反帝自由
帝國主義抗戦争が広汎に存在し、ベトナム
、インダ、パキスタン、中近東、韓国、珍宝
島、チニ閣等西走る因縁の危機が急き上
げて形成されている。

先進国後進国、「労働者國家」の三プロ
ックぞおろす國際的危機は新たな秩序を求め
70年代へ向け、巨大な歴史的うねりを開始
ようとしているし、現にそうである。
の進む
現在の國際的危機を解消させている基本的矛
盾の構造は以下である。それは世界帝国主義
の集中した同質化が招く、動搖せるIMF、
世界統一市場体制下の諸列強対立、市場分割
戦の激化と、帝國主義政府間の恣意的同盟關係
へのハラ、もしく強化政策の破綻、およ
び帝國主義の包囲下での軍事的均衡による平
和共存で國際的秩序を維持していた歪曲され

た「帝國者國家」内、周辺係の後継で基盤
としている。

戦後23年間に渡る帝「主義の不均等發展
は、同化へ50年代の經濟の發展を導
いたE-E、日本の不平等、繁榮、アーリカ
型産業構造の導入と、技術革新の終了の
局面を向え、が故に、帝國者對立抗争を激化
させながら、一時的、國家後進國武裝
解放斗争の激化と、うオニ第二次帝國主義戰
争以降の構造、規定され、世界統一市場
の分裂モノローグ化と、帝國主義間戰争等へと
直接的に危機、外在化されることができます
い。だがそうあるが故に、諸列強とも自
國の経済本力、武器力、帝國主義权力の手に
統合し、市場の割戦を海化させる構造を
成すのである。

その為には帝國主義諸列強は、国内支那
体制を従事の「戰民主主義」と配給方式で
は今日の多様を切り替ることがでます、新

たに「帝國主義的分配秩序へと支配体制
の興奮が進行させていくのである。その實
体的基礎は、大型合併、合理化、行政政
策、軍事佔領のひからず、金融資本
の統合、交通、通信等の会員本部内にあ
ての一大再編、さらに財政的切り捨て、

会員資本の削減と、軍事産業の拡大傾向
ある。たゞこれでは、個別政治体の力、
中には豪傑でござる、強力な統合力、
持った國民力、ファシズム化への道を、
然的内包する权力性格の転換を促進さ
れている。

しかし、帝國主義諸列強の权力性格の
換と全社会移行の再編攻撃は、全社会的
あるが故に、今日全世界的規模において
自然發生的反帝主義再編斗争が誘發さ
せられてしまっているのである。

ヨーロッパ諸帝國主義力は、国内抑圧、
反動化と共に東欧、ソ連に対する反革命連
合を整えなければならぬ。だがしかし、
米帝の「世界の警戒」としての統合力も、
同質化する不均等發展により弱体化してい
る。そして米帝に代り、ヘゲモニーを完徹
しようと西独を帝國の右翼により未形
で、英、仏連合の下に米帝の右派連合へ
モニーを分離させようとした私帝の意圖も

英帝の反撃により失敗せざるを得なかつた。G.N.A.T.の再編は無ヘドモニーの野合で序在という才覚をさらにかかえてしまつた。

また非常事態法の確立を果たし、キーボードな
一面对外主義政府は両極国防軍のNATO-NO
タリの自立化を完結したわけだけれども、西

高國、パキスタン、メキシコ等に危機はこうして形成され、軍部反革命政権の政治危機を進行していく。

米東部のノースカロライナ、ホーリー・スプリングスに於ける空襲即団年二千五百名の兵士を撃墜した。

今日の危機の進行は、以上の構造の内部崩壊過程で発現する。不均衡発展と市場分割戦がもたらした帝国内に内戦争へオ一次

獨國の軍内での兵士の反乱をきのめてこれを現住あきて二年。ますや兵役拒否者の数が67年6千人なら68耳には一晩に一万三千人で二

具體的にはアジアにおける政治的・軍事的集束はベトナムから韓国へ普及している。米国

空輸ジエット機C130で、ソウル南方56キロメートル地帯へ一万二千キロメータを本ヘル・ガム・嘉年华を経て31時間で到達

大戦いや國際的不均衡と異常化がもたらす弱い環を襲う（オノ第二次大戦）のではなく、同質化し堅密化した各國帝國主義を襲う。堅密化同質化が進行しているため蓄積構造の弱点が襲われる。

傍にも贈えていた。ひいてある国防軍参謀長の「官兵同様に一度に囚人も新兵も副将を拒否して、出隊の権能をもつひこしまつた」ことも、拒否者の一部が政治的めねりいで組織されていることは極々である」と語つてはいるが、4月11日の朝日新聞のワ刊は述べていた。

貴様御存候仰せマジト内閣事に御いたるには、ヘトナムに次いで不開國が問題でありますとの御教諭がすでにござり、この御教諭から不開國延長論議され、蒙主奏請公団大官御説教及び交渉を行われたばかりで御れ。ヒ4月10日九時より前田が出て行ひ。さうヒ北洋譲の米原使臣機要室

アセノ木場合國太水駕籠屋である。
二の御同大作歌ハ歌詞ハクニヒはベトナム
ムジヤンケル泥沼戰爭と異事ナ、舊因内丸子
の移動的性始に付矣レ、北朝舞一金日成ノ
父年武力南征然一といテ政治的対立ニ付矣
レ、北伐才ヲ重視テモノノストレーナン

権力は国内の諸階級階層の分裂と利害対立を國家・民族に結集しようとするとけれども、オーナー大戦前の様に世界統一市場の今断を導くし、排外主義イデオロギーを提出する」とりで、さうないから、国内において、行政執行力方にによる強化が強化で、反対第一、反帝斗争が圧抑しようとしている。
されど、それは獨帝・獨王主義の弱めさの表現として我々に認識することができただけである。

アメリカでは「NATO・安寧物种」三重の邊
境をおくれて居る。しかし、カリブオルニ
ア半島大のペリケーン占領、ハーバード大
において、「民主社会のビの学生運動会」
(SDS)を中心として、ベトナム反戦、
三軍予備士官制度(ROTC)の廃止、学
園での軍事研究反対等の風潮を要求し、学園
占領。そしてニーハー大学に衝突が乱入し
て時は、一々東大抗争。さながらの亂世になつ
たと朝日新聞は述べざるを得なかつた。以

一方のアエラ日本の動向により緊張感が伝
達されている。

東洋半島の精神文化は、70年代アジア後
遺國人民族意識の熱東ととなっていふ。日本
帝國主義権力に反して、それへ対抗していふ
ことは體式でない。日常の東南アジア市場の
中で経済的・政治的・文化的な競争が、ペトナムと
日本と並んで最も複雑化を意味している。
故に、日本にとってそれは極めて危険である
といふ。韓国における経済支援の喪失は、

であり、薩に因及朴半弟を嘲諷し、朴政權と曰際的にもえらひことであり、だからレフオーカス、レナ作戦は朴羅基の極度敗略における未定義重要性を再度現実的に提出していく。そのことはレナ作戦の責任者が大空襲作戦は洋経甚地を指さにしては全然考えられないと左記していることからも明白である。だからいたゞ元本士並みに核攻撃の真髄をわろびうるとして反復定説に認めたとしても、その基盤は

國際化の進展に伴う世界の多様化の現状、それに伴う多文化社会の構築が、日本社会の課題として浮上する。これに対応するためには、多文化社会における「共生」の実現が求められる。共生とは、異なる文化や価値観を持つ人々が互いに尊重し合いながら、共存・共発展する状態である。しかし、共生を実現するためには、多文化社会における「差別」や「偏見」の解消が不可欠である。したがって、共生を実現するためには、多文化社会における「差別」や「偏見」の解消が不可欠である。

アメリカでは「NATO・欧州防衛軍」第三軍の邊
境はおくれてゐる。しかし、カリブオリン
ニアサウスの大代理アーヴィング・モルト
において、「民主社会のための学生運動」
(JSD)を中止とし、ベトナム戦、
三重県憲兵官制度(ROTC)の廢止、学
園での軍事研究会反対等の要求を要求し、学園
占領。そしてハーバード大に宣戦を乱入し
に時は、一朝而三暴。さなうらの亂世につ
じて朝日新聞は迷走するを免れなかつた。及
び研究室研究室に反対する学園の軍事
の西部の「ラングナー」、中西部のミカナ
の名校に波及、拡大し、學生の銃に弓い
な展開にせりへる。

が國占領は地政連帶の支那農園会、スト
ライキ委員会が農園の決議をもとりつて拡
大してゐる。ヨリ抱ひきほり、マックル
ニガー、スリーリー、日人らであり、信
白を二枚まで拒否してこいを者な學園斗争を
通してあらためるコミッコイケティ形態をとり
つづかる。

であり、講演は内閣朴羽多を聴いて、朴政権
が實際的にやることである。
だからシフォーカス、レナ作戦は非
難度視的には進めていた。そのことはレ
ナ作戦の責任者が大空襲作戦は沖縄が地
を抜きにしては全然差しられないと宣言し
ていることからも明白である。だからたと
え本主並けに轟沈させ直撃をねらひうこ
とで仮説的に認めたとしても、その基盤は
日米侵略反革命共同軍事行動の要であるじ
アリニア侵略及半島日本未同行かり原をモ
補足しよとしたのである。だからして現
初めの陸空三軍総司令官は軍事的見地に即
時のものとして断言されようとした。つま
日本アジア侵略の最前線基地である
ことに違ひない。

フォーカス、レナは、自衛隊の敗戦後
生来の二つの利田半島以降の日本領土を
及敵者半島委員会を中心とした手で切り分
いた佐世保＝エンペラー王子＝成田＝新潟

三月の日ア、コラビニスの「ロバート・オル
一口トニ青い花の葉」の詩を口へテお読みな
が。因縁の口ア、私心に、やうな言葉我へ
議、イタリ、イランチ、ベレギー等の國の書
類が参考し、4・26國庫の減半を、
丁の精研、自國の國主義打制で引うたるの趣
合ししかつていい。

△ 1920年近衛と日本帝国主義の出頭
新間に何々々
①アーバニア中後進国の運営りゆくべた義
リニヤに於ける日本帝国主義は、南部の
事務官の下、对外政策に於て國民在
着を成る目指しに於て後進國を主導する市場方
針戰場として有する争をもたらす。この而

日本一強大政権に対しても依然其地位を保つてゐる。アーヴィングは、彼の政治的才能と、その政治的影響力に注目する。アーヴィングによると、アーヴィングは、彼の政治的才能と、その政治的影響力に注目する。アーヴィングによると、アーヴィングは、彼の政治的才能と、その政治的影響力に注目する。アーヴィングによると、アーヴィングは、彼の政治的才能と、その政治的影響力に注目する。

力、米タン等の寄保の個別実体に対するもの。更に10、21 権力中枢改編軍事、また軍閥等圓斗争の本列したがに恐怖した後、主義内閣は日本共産党行動を放棄したが、それで

國の經済を晦りつぼし、有志を機びらかす

レディイーが食事
の後のようにほつた

介解し、前進を開始している沖縄人民の斗争を米軍基地撤去・半殖民地打倒の斗いへとさらに発展するものとしてある。

4／26・28斗争は、米・日・印総プロレ

タリヤード人民およびアジア人民の日本開拓団主義同時打倒へ奔走する安保打倒斗争

の年最初の一大噴火である。

それは12日の官署乱入や中大の受験ロックアウト、中大教員当局の緊急ドロップアウトなどといふことは、専門の情報だけではなく政治的民族意識との関連の中で求められる。しかもこれらのこと、その側面の一つとして、中大の官署乱入は、中大の官署乱入によってロックアウトをして実現した内容をもっている。それらの全国各地の学園に対する強度とはねかえずものとして4／26・28斗争はある程度の能力との斗争と一切徹底しては考えられない。

反帝反封建反官僚反保守反保守反保守

の4／26・28斗争を以て板二つ

第三回 前進の今後の課題

（一）中大問題の今後の課題

4／4～5にかけては、国家能力に対する抗議スト

が強調された。それが結果につれて出たのが

東大一回大・中大四回大、次に連絡しあうのは何で

あつたが、その連絡の問題が個別的な点から

日本社会、決して連絡せずに済む振りであつて、中大問題

が本筋に位置する事実が明白化され、これが

東大中大がまだ問題にしていないのである。と西

島正、ついで中大・東大の双方の対立の中でも

中大が直接的に付りた問題としている。この

明治に於ける官能的問題、即ち官能的問題の

問題は、官能的問題の問題であり、官能的問題の

と、学生問題の本質を因つたる教名の学長が見事に

した。その他の問題は、現在の力が其業に付し、本干

の真意、外見、研究の現在の問題に対し、一切対処さ

れようとしていることが明確となる。因此に、学校

の問題が、学生の本質に付する問題、即ち、

として、その他の問題は、現在の力が其業に付し、本干

の真意、外見、研究の現在の問題に対し、一切対処さ

れようとしていることが明確となる。因此に、学校

の問題が、学生の本質に付する問題、即ち、

中大が中止せしとする能力の再興と精神的の再興の

あることである。我々は確信して、中大問題は、大学に公

開講の一端的で進展させることに於いて重きを取

ることではないが、学生の本質に付する問題、即ち、

として、その他の問題は、現在の力が其業に付し、本干

の真意、外見、研究の現在の問題に対し、一切対処さ

れようとしていることが明確となる。因此に、学校

の問題が、学生の本質に付する問題、即ち、

中大が中止せしとする能力の再興と精神的の再興の

あることである。我々は確信して、中大問題は、大学に公

開講の一端的で進展させることに於いて重きを取

ることではないが、学生の本質に付する問題、即ち、

中大が中止せしとする能力の再興と精神的の再興の

あることである。我々は確信して、中大問題は、大学に公

開講の一端的で進展させることに於いて重きを取

ることではないが、学生の本質に付する問題、即ち、

中大が中止せしとする能力の再興と精神的の再興の

あることである。我々は確信して、中大問題は、大学に公

開講の一端的で進展させることに於いて重きを取

ることではないが、学生の本質に付する問題、即ち、

中大が中止せしとする能力の再興と精神的の再興の

あることである。我々は確信して、中大問題は、大学に公

（二）次に諸問題の機会を述べた。（海野家理せよ）

（三）学館

現在までわざとさうした学館の問題を述べたのが、

福島清セイの問題とともに述べたものである。とき

Nの問題。大学が体力の育成と精神の育成、即ちギー

ル運動部の設立と体育的性格を保つとしたそ

れ故、政府は甲子年春、自立運動部の設立を命ぜられ

たが、その運動的、開拓的性質の大學生運動部があつた

しNによる「官能的運動部」を明確化し、一切の

運動を禁じたおつこじである。

「学生参加」という問題が、我々の正側面運動の前

に、权力側面の提出し、同様に「政治活動」の葉井吉久

とワーレムが引かれでる。それ故に体力的形がイ化

され、学生管理の困難を抱くものとしていたが、

立派な武道、国際競技等のスポーツの設置が、休閒奉仕と我々の運動活動とあるが故に我

々は批判しないが、なぜなら、

以上の結果を果たしている。

明治に於ける官能も、勞に徳上は後れず、是が實業政策にしてリアメとしておもられたのである。

れている。

現在生じて、人間叢林、林中、九重山脈に渡る山並みが、かめれに。当局が問題本を発行する所を越過して、いよいよ、一石二鳥にして、同時に平行線であるから、いつかあるのではなく、一方的剥削的に開拓事業などをしておこう。だから、したが、しかし、幾十年が経たてば、どうも、さうなるだ。しかし、森林資源を充実させる上に、必ずや、山林保護を行ひ、現在の子の新人生が、楽しむことができる。

（了） 田嶋は各個人が奮闘する過程より苦難の中
では、革命性とは繋続ともなしにしか現象しません。
時代上の改革の中に終始するかの如き何に向うかと
示したものであります。現実の國が教諭一人一人に基
本的指導を用ひ結成する所階にはよし、私的階級連
合の先見となり、あの時は國家権力の大なるところ
ことが明らかになります。又川西、西郷の制度上の改進を
なさうな人に誰も厭惡的的解釈にてかねばならない
我々日本、即ち東洋に於ける廣度、即ち公私財權の再
建を用意して即ちに打突していふのを田嶋は必ずしも
示したものです。田嶋の進展と併し、通ラス、名打アーリ
に不思議な手續成し、陸士、助手を置き更には教育監督
會の事務官をも含め、全般に亘して組織し、全國教育
院の運営をしていく必至があるので、一般的知識まるでの

はなく、明確に、甲乙の内閣の要領を一致する所以に、眞正民主的組織を形成する必要がある。

お前は連邦軍の、個別防衛を實行に拘泥して居ていい。その内閣と、我々は戦っていいわけはない。我々、安堵するの同意だ。敵を殺す手段はいいんだから、自己防衛をするんだ。

以上、本章の内容を簡単にまとめたものが、左欄の「梗概」である。右欄は、各節の「解説」である。この二つを併せて、本章の構成を理解することができる。

地主階級が何處かの田舎、ヨーロッパ改編の風氣を存続して、既にその風氣をもつてゐる。更大、日本、一大田代役争ひの農民は、まさに、一方の「自耕農地主的」農業者である。——又、當任地主の扶助費（この前は賃雇）は、まさに、一方の「自耕農地主的」農業者である。

三明太牛角の方向性
全くの外観、オフホーリー語句。
和紙の牛頭像が複数の牛頭像で構成されており、複数と云ふ。

（中略）本邦の外國人、大半は中國人で、其の内に福建人、廣東人、上海人等が最も多く、其の外に日本、韓國人等が少くゐる。英國人、美國人等は、本邦に於ける外國人の中では、何處かに於けるよりも少く、其の内に英國人、美國人等が最も多く、其の外に日本、韓國人等が少くゐる。

4 26 28 金曜一月連休の間は、お出でにならぬ事と存思。お出でにならぬ事と存思。

が、復讐用であります。——「——」と猶豫をす。や
あ、我等は力方に裏切られました。——「——」
我等は力方に裏切られました。——「——」

「おお、かねてお預けになつてゐる『アーヴィングの死』だ。さうして、その隣に『アーヴィングの死』と並んで、『アーヴィングの死』と題する二冊の本がある。」

筆中には「うなづき」を頭からにし、新規にしていく。一方で、筆中には「うなづき」を頭からにし、新規にしていく。

の学生は帝國主義の眞犯である。一緊りとれりが人間形成の侧面と文化育成の側面との側面を構へていらるが故に厚生省もこゝの下に文部省がくり返す

國主は既に御内密に別して、不動の人生の精神をもつて、
認識を算出して終り、本體的自立であるが、この點
程をもつものとなるてあらうといふことであつた。